

知立南中学校 自然災害等対応マニュアル

令和8年度版 (R8. 5. 29更新)

警報等の発表時は、**命を守る行動を優先し行動**してください。登校については次の基本対応を参考に保護者で判断をしてください。

I 台風等異常気象時の対応 (R8. 5. 29改訂)

防災気象情報の種類		自宅にいる場合の対応	学校にいる場合の対応
気象庁(気象台)が発表する防災気象情報	特別警報 暴風 大雪 暴風雪 波浪	自宅待機 (学校は休校) 直ちに命を守る最善行動 ・「特別警報」解除後も、学校からのメール等による連絡があるまで登校しないでください。	校内待機^{※3} 直ちに命を守る最善行動 ・「特別警報」解除後は、学校からのメール等による連絡の後、教員が付き添い下校もしくは保護者への引き渡しを行います。
	警報 暴風 暴風雪	自宅待機 ・午前6時を過ぎても解除されない場合 → 学校は休校 ・午前6時まで解除された場合 → 平常登校^{※1・2}	校内待機^{※3}または下校 ・安全と判断されるまで下校を見合わせます。 ・安全に下校させるための配慮を行い、状況を見て一斉下校や保護者への引き渡しを行います。
	大雪 波浪	平常登校^{※1・2}	平常授業^{※1}
	注意報 大雪 強風 その他	平常登校	平常授業
	警戒レベル5 特別警報 県 ^{※4} : 氾濫発生 市 ^{※4} : レベル5までに避難完了を目指す	自宅待機 (学校は休校) 直ちに命を守る最善行動 ・「特別警報」解除後も、学校からのメール等による連絡があるまで登校しないでください。	校内待機^{※3} 直ちに命を守る最善行動 ・「特別警報」解除後は、学校からのメール等による連絡の後、教員が付き添い下校もしくは保護者への引き渡しを行います。
	警戒レベル4 危険警報 県 ^{※4} : 氾濫危険水位 市 ^{※4} : 避難指示	自宅待機 (学校は休校) 早めの避難を考慮する ・「危険警報」解除後も、学校からのメール等による連絡があるまで登校しないでください。	校内待機^{※3}または避難場所への移動、保護者への引き渡し等 ・気象や通学路の状況等を踏まえて判断し、学校からメール等で連絡します。 ・「危険警報」解除後は、気象や通学路の状況等により、一斉下校もしくは教員が付き添い下校をします。
	警戒レベル3 警報 県 ^{※4} : 避難判断水位 市 ^{※4} : 高齢者等避難	平常登校^{※1・2}	平常授業^{※1}
	警戒レベル2 注意報 県 ^{※4} : 氾濫注意情報 市 ^{※4} : 市職員非常配備開始	平常登校	平常授業

II 南海トラフ地震を含む地震に関する対応

1 大地震(南海トラフ地震を含む)に関する対応

【南海トラフ地震臨時情報の確認事項】

- ・南海トラフ地震臨時情報は、地震予知情報ではありません。
- ・南海トラフの想定震源域などで、大きな地震が起こっている場合に、この情報が出ます。

南海トラフ地震臨時情報とは…

◎まず「調査中」が発表され、続いて「巨大地震警戒」、「巨大地震注意」、「調査終了」のいずれかが発表されます。

地震	学校
知立市で震度 5弱以上 の地震（南海トラフ地震を含む）が発生した場合。	【登校前】 <u>授業中止</u> です。家で安全確保してください。 【授業中】 <u>引き渡しカードの記載方法に従って、下校となります。</u>
●知立市で震度 1～3 の地震が発生したとき。 ●南海トラフ地震臨時情報（調査中・ 巨大地震注意 ）が発表されたとき。 ※南海トラフの想定震域又はその辺で、大きな地震（M6.8程度以上M8.0未満）が起こっている状況です。（知立市では、突発的に震度1～3の揺れ）	<u>通常授業</u> となります。 ・校外活動の場合は出発一時見合わせ、もしくは速やかな帰校準備をする。
●知立市において、震度 4 の地震が発生したとき。 ●南海トラフ地震臨時情報（ 巨大地震警戒 ）が発表されたとき。 ※南海トラフの想定震源域で、大きな地震（M8.0以上）が起こっている状況です。 ●南海トラフ地震臨時情報（調査終了）が発表されたとき	<u>原則、通常授業</u> となります。 ※状況によっては、 臨時休校及び授業を中止する場合があります。 ※ 授業終了後は速やかに帰宅する。 ※原則、きずなメールで連絡します → <u>通常授業</u> となります。

Ⅲ 弾道ミサイルに関する対応

Jアラートが発動された場合

☆日頃から地震に対する備えを確認しておいてください
・連絡手段・避難場所、経路・危険場所・非常袋、非常食
・家具の固定など

1 登校前

- ・自宅で待機し、政府発表による安全の確認がとれた後、登校してください。
- ・登校時刻や方法については、きずなメール等、学校からの連絡にご留意いただきますよう、よろしくをお願いします。

2 在校中

- ・安全を確認できるまでは、校舎内で待機します。
- ・安全を確認した後は、通常通りに日課を進めます。

3 登下校中

- ・できる限り頑丈な建物や地下に避難し、安全を確認できるまで待機してください。
→ 鉄筋コンクリートでできた建物がよいです。
→ 建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。
- ・避難先で安全を確認した後は、登校途中の場合は速やかに登校を、下校途中の場合は下校をしてください。

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を随時伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急連絡メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動
②正確かつ迅速な情報収集
行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために
事前に確認しておきましょう。
http://www.sakumihin-hogo.go.jp/hiryoku/hogo_manual.html

首相官邸 ホームページ www.kantei.go.jp/
首相官邸災害・危機管理情報 [@Kantei_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)

メッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外にいる場合
できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
地下：地下街や地下駅などの地下施設

建物が
ない場合
物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合
窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くにミサイル落下！
●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目隠りをして室内を密閉する。

保護者の皆様へのお願い

1 居場所の確認

- ・日頃から家庭で、お互いのその日の動向を確認してください。緊急下校しても家が留守で入れないというようなことがないようにお願いします。

2 危険箇所の通報

- ・警報の有無にかかわらず、道路の冠水、河川の氾濫、火災の発生、電線の切断など、生徒の通行が危険と思われるときは、危険箇所を学校へ通報してください。生徒は自宅待機させてください。

3 災害などのために登校できなくても、遅刻や欠席扱いにはなりません。

4 警報解除の問い合わせなどの学校への電話は、情報収集の妨げになりますので、ご遠慮ください。

5 警報発表時や危険を感じるような状況下では、学校からのメール配信を気にかけてください。